

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 26日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒105-0014

住 所 東京都港区芝2-3-8

氏 名 りんかい日産建設㈱東京建築支店  
支店長 城田知明

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

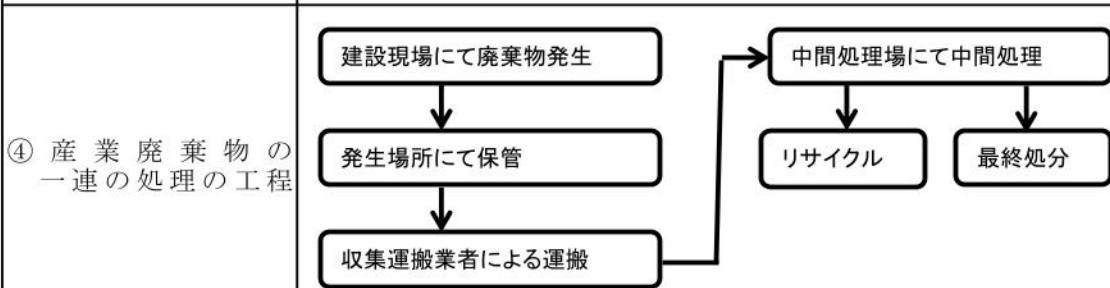
電話番号 03-3456-1223

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	りんかい日産建設㈱ 東京建築支店
事業場の所在地	東京都港区芝2-3-8
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

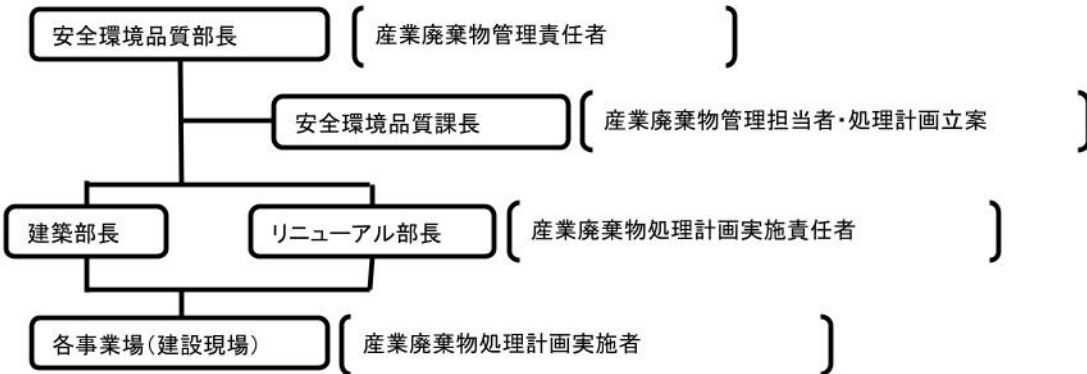
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高：13.6億円
③ 従業員数	令和4年3月末時点 94人



（日本工業規格 A列4番）

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	排出量	2631.84 t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IS014001の運用により目標値を設定し廃棄物縮減を図る。</li> <li>・ 工法（仮設計画等）の見直し及び発注者に対する設計変更等の提案による廃棄物削減の提案。</li> <li>・ 不必要な過剰梱包の削減。</li> <li>・ 可能な限り分別収集を行い、廃棄物削減の意識を現場全体に浸透させる。</li> </ul>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	排出量	1496.99 t	t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IS014001の継続運用による廃棄物の発生抑制。</li> <li>・ 店社による環境パトロールを実施し、産業廃棄物の管理状況を随時確認し、必要に応じて指示、指導を行う。</li> <li>・ 着工前に廃棄物排出量の計画を確認し、現場単位で目標値を定め、管理を行う。</li> </ul>		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IS014001の運用により、現場毎に目標値を定め、管理している。</li> <li>・ 着工会議にて仮設計画を検討し、産業廃棄物保管場所等の状況から分別収集の計画を検討している。</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IS014001の継続運用により、産業廃棄物の管理を徹底する。</li> <li>・ 店社による環境パトロールを実施し、産業廃棄物の管理状況を随時確認し、必要に応じて指示、指導を行う。</li> </ul>

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	t
（今後実施する予定の取組） 特になし			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙による	
	全処理委託量	2631.84	t
	優良認定処理業者への処理委託量	680.00	t
	再生利用業者への処理委託量	2422.70	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001の運用により、産業廃棄物発生量の目標値を定め、削減に努力するとともに、店社による環境パトロールを実施してきた。</li> <li>・産業廃棄物処理委託業者の事前審査。</li> </ul>		

②計画	<b>【目標】</b>			
	産業廃棄物の種類	別紙による		
	全処理委託量	1496.99	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	720.07	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1378.03	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ IS014001の運用及び店社による環境パトロールの継続実施。 ・ 電子マニフェスト使用業者の現場への紹介、契約の推進。 ・ 電子マニフェスト未使用業者への加入指導。			
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。







産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	混合廃棄物	繊維くず	水銀含有廃棄物			
	排出量	1.5 t	924.8 t	209.1 t	0.1 t	0.0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	混合廃棄物	繊維くず	水銀含有廃棄物			
	排出量	0.8 t	526 t	119 t	0.1 t	0.0 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	混合廃棄物	繊維くず	水銀含有廃棄物			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	混合廃棄物	繊維くず	水銀含有廃棄物			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	混合廃棄物	繊維くず	水銀含有廃棄物			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	混合廃棄物	繊維くず	水銀含有廃棄物			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	混合廃棄物	繊維くず	水銀含有廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	混合廃棄物	繊維くず	水銀含有廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	混合廃棄物	繊維くず	水銀含有廃棄物			
	全処理委託量	1.5 t	924.8 t	209.1 t	0.1 t	0.0 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t	89.6 t	209.1 t	0.1 t	0.0 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1.5 t	924.8 t	209.1 t	0.1 t	0.0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	混合廃棄物	繊維くず	水銀含有廃棄物			
	全処理委託量	0.8 t	526 t	119 t	0.1 t	0.0 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t	473.4 t	107.1 t	0.1 t	0.0 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.8 t	526 t	119 t	0.1 t	0.0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t

